

領域	学級活動	学年	小・中学年	単元名	いのちのつながり
ねらい	多くのいのちがつながって自分が存在しているという、いのちのつながりに気付き、自らのいのちの大切さについて理解できる。				
評価規準	自分のいのちは、多くの人とつながっていることから、自分を大切にするために、これからの生活で大切にすることを考え、意思決定している。(思考・判断・表現)				
過程	時間	学習内容・活動			指導上の留意点
導入	7	1 「自分といのちがつながっている人」と聞いて思い浮かぶ人を考える。 ・お父さん・お母さん ・おじいさん・おばあさん・おじさん等			・自分の家族や親戚等を思い浮かべるように助言する。
展開	30	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">課題：いのちがつながるとは、どういうことだろう。</div> 2 自分のいのちは、お母さん、お父さんとながっていることを知る。 ・お父さんとお母さんがいたから、僕が生まれてきた。 ・お父さんとお母さんの前には、おじいちゃんとおばあちゃんがいる。 ・おじいちゃんやおばあちゃんの前にもつながっている人がいるじゃないかな。			・自分、父、母など絵カードを貼り、関係性を理解しやすいようにする。 ・お父さん、お母さんの前には、どんな関係性があるのか想起させ、いのちのつながりをイメージさせる。 ・いのちの表を用いてワークシートの進め方を説明し、児童と一緒に進める。
		3 ワークシートを通して、多くの人といのちがつながっていることを知る。 ・多くのいのちがつながって、今の自分がいる。 ・一人でもいなかったら、自分のいのちは存在していない。 ・これからもいのちをつなげていくために、自分のいのちを大切にしないといけない。			・お父さん、お母さんをはじめ、いのちがつながっているから今の自分がいることを理解できるようにする。 ・自分以降、今後もしのちが受け継がれていくことを確認する。 ・一人一人のいのちがつながっていることに触れ、自分のいのちの大切さを見つめることができるようにする。
まとめ	8	4 いのちのつながりからこれからの生活で大切にしたいことを書く。 ・いろいろな人からもらったいのちだから、家族へ感謝の言葉を伝えたい。 ・友だちと遊ぶ時も、遊び方や言葉に気を付ける。			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>評価規準【思考・判断・表現】</b>            自分のいのちは、多くの人とつながっていることから、自分を大切にするために、これからの生活で大切にすることを考え、意思決定している。(発言・ワークシート)         </div>
<b>&lt;配慮事項&gt;</b> ・実施にあたって、児童の家庭環境等十分踏まえた上で、実施の可否を判断する。 ・実施する際は、事前に指導内容を保護者に伝え、理解を得た上で行う。					